

第4・5学年 | 国語科学習指導案

日時 平成17年10月13日(木) 5校時

児童	4年生	男1名	女4名	計	5名
	5年生	男5名	女5名	計	10名
				合計	15名

授業者 佐藤 美果子

4年生

1 単元名

一 場面をくらべて読もう

教材名「一つの花」(光村図書四年下)

2 単元について

(1) 児童について

漢字学習や言葉のきまりの学習に粘り強く取り組む、しっかりした5名の4年生である。

大事な言葉を読み取っていく学習では、まだ読み取りが浅い部分が見られる。4年上の「三つのお願い」では、お願いの言葉を考えていくことに、1名ないし2名の児童が理解に時間がかかった。人物の行動や会話文から場面を限定して考えさせた結果、読み取ることができたため、「一つの花」の教材においても場面の様子を限定し、考えさせる場面を丁寧に扱うことで戦争という極限状況における愛をとらえさせていきたい。

(2) 教材について

「まだ戦争がはげしかったころのことです。」「それから10年の年月がすぎました。」という時代背景を認識させ、平和の重みを実感し平和の大切さを考えさせるきっかけとしたい。戦時下においても子を思う親の思いの深さはかわらない。父母のゆみ子に対する思いを叙述に即して読ませていく。

「三つのお願い」では、言葉に気を付けて読むこと、「白いぼうし」では、会話や行動から登場人物の人物を考える学習を行ってきた。

「一つの花」は、登場人物の心情と場面の様子を読み取り、さらに読み取りを深めて、題名の象徴性まで考えさせていく。言葉や表現に気を付けながら丁寧に読ませるには、適切な教材といえる。

(3) 指導について

言葉に対する感覚を育てるため、場面ごとに丁寧に言葉や表現の意味を想像したり、様子や行動に限定することで登場人物の心情を読み深めさせたい。丁寧に読み取って、じっくり考えさせる活動を通して

5年生

1 単元名

一 人物の考え方や生き方をとらえよう

教材名「わらぐつの中の神様」(光村図書五年下)

2 単元について

(1) 児童について

一人学びにも真面目に取り組む5年生である。自分の意見を出し合い、話し合おうとする姿勢が育ってきている。

5年上「新しい友達」では、登場人物の心情の変化を学び合いの場の話し合いを通して理解できてきた。

「わらぐつの中の神様」においても、文中の言葉を丁寧に読み取ることで、人物描写のおもしろさや様子などに気づくことができるとされる。人物の考え方・生き方について児童なりに考えさせていきたい。

(2) 教材について

主人公の「おみつさん」及び「マサエ」について児童は、親近感を抱き、興味を持って読み進むと思われる。児童にとっては、平易で分かりやすい言葉で場面の飛躍転換が見られ、ひと味違ったおもしろさがある。「新しい友達」で登場人物の心情の変化を読み取った学習を生かして「おみつさん」と「大工さん」の心情を読み取らせたい。

場面を丁寧に読み取る際に、わらぐつ・雪げたの小道具を通して人物像を考えていくことで、「心を込めて作ったものには、神様が入っ」「心を込めてている。」という一文や大工さんのものづくりへの真摯な姿勢やおみつさんとの会話は、人物像を考えさせるためには、よい教材であると思われる。

(3) 指導について

理解に時間がかかる児童が見られるため、場面ごとに言葉を考えさせる時間を取ることで、会話文の意味を考えさせていきたい。

会話文の中に見られる人物のものの考え方を捉えさせていけば、理

場面の様子や父親の心情を理解させていきたい。

3 単元の目標について

(1) 目標

< 関・態 >

- ・大事な言葉に気を付けながら、場面の様子と人物の様子に興味を持って読むことができる。

< 読むこと >

- ・登場人物の様子と場面の様子を作品の中の大事な言葉に気をつけて、想像しながら読むことができる。(読ウ)

< 書くこと >

- ・主人公に手紙を書き、登場人物の心情を考えることができる。(書ア)

< 言語事項 >

- ・情景描写や様子を表す大事な言葉に気を付けながら読むことができる。(カ(オ))

(2) 研究仮説にかかわって

仮説2 一人学びにおける場の設定と指導の工夫
イ 人物の行動や気持ちを想像しながら読む

解は容易であると思われる。

二人の会話を中心に仕事に対する構えを読み取らせることで、登場人物に迫っていきたい。

3 単元の目標について

(1) 目標

< 関・態 >

- ・方言と共通語について関心を持ち、物語を楽しんで読むことができる。

< 読むこと >

- ・登場人物の行動描写・会話などから人物の人柄や場面の情景を叙述に即して読むことができる。(読ウ)

< 言語事項 >

- ・方言を味わい、物語の展開の工夫に気づくことができる。(カ(オ))

(2) 研究仮説にかかわって

仮説3 学び合いにおける場の設定と指導の工夫
イ 人物の気持ちや場面の情景の叙述や描写の巧みさに気づきながら読む

4 学習計画

4年生(8時間扱い)

評価規準	到達目標(学習活動)	時数	到達目標(学習活動)	5年生(8時間扱い) 評価規準
A: 強く心に残ったところや考えていきたいところを見つけ書くことができる。 B: 強く心に残ったところや考えていきたいところを書くことができる。	通読し、感想をもつ。	1 持 つ	通読し、感想をもつ。	A: 心に残る言葉や文章を見つけ書くことができる。 B: 心に残る言葉や文章を書くことができる。
A: 4つの場面から大事な言葉が表れている小見出しを、根拠をつけて書くことができる。 B: 4つの場面から大事な言葉が表れている小見出しを書くことができる。	場面に小見出しをつけ、構成を読み取る。	2 見 通 す	場面に小見出しをつけ、構成を読み取る。	A: 現在・過去・現在の構成をつかみ、根拠をつけて大事な言葉が表れている小見出しを書くことができる。 B: 現在・過去・現在の構成をつかみ、大事な言葉が表れている小見出しを書くことができる。
A: 戦時下の様子やゆみ子様子を根拠をつけて書くことができる。 B: 戦時下の様子やゆみ子様子を書くことができる。	戦時下の様子やゆみ子の行動を読み取る。	3 学 び 合 う	わらぐつに対するおばあちゃんとマサエの見方のちがいを読み取る。	A: わらぐつに対するおばあちゃんとマサエの違いを根拠をつけて書くことができる。 B: わらぐつに対するおばあちゃんとマサエの違いを書くことができる。
A: ゆみ子の父母の言動から心情を根拠をつけて書くことができる。 B: ゆみ子の父母の言動と心情を書くことができる。	ゆみ子の父母の言動から心情を読み取る。	4	おみつさんがわらぐつを編む様子から人柄を読み取る。	A: おみつさんのわらぐつを編む様子からその人柄を根拠をつけて書くことができる。 B: おみつさんのわらぐつを編む様子を書くことができる。

4 学習計画

<p>A:「まるで戦争になんか行く人でないかのように」すごしているゆみ子たち親子の様子を根拠をつけて読み取ることができる。</p> <p>B:「まるで戦争になんか行く人でないかのように」すごしているゆみ子たち親子の様子を読み取ることができる。</p>	<p>戦争に行く人々を見送る駅構内の様子とゆみ子たち親子の様子を読み取る。</p>	5	<p>わらぐつを売ろうとするおみつさんと大工さんの様子を読み取る。</p>	<p>A:わらぐつをみる町の人々の様子で大工さんの様子と比べながらおみつさんの心情を根拠をつけて読み取ることができる。</p> <p>B:わらぐつを売ろうとするおみつさんの様子で大工さんの様子を読み取ることができる。</p>
<p>A:戦争に行かなければならない父の言動から心情を根拠をつけて書くことができる。</p> <p>B:戦争に行かなければならない父の言動と心情を書くことができる。</p>	<p>戦争に行かなければならない父の言動と心情を読み取る。</p>	6 本時	<p>大工さんの仕事に対する考え方からたのしくてえらいと思ったわけを読み取る。</p>	<p>A:大工さんの仕事に対する考え方からたのしくてえらいと思ったわけを根拠をつけて書くことができる。</p> <p>B:大工さんの仕事に対する考え方からたのしくてえらいと思ったわけを書くことができる。</p>
<p>A:10年後のゆみ子とお母さんの様子を戦争の時と比べ、根拠をつけて書くことができる。</p> <p>B:10年後のゆみ子とお母さんの様子を戦争の時と比べて書くことができる。</p>	<p>10年後のゆみ子とお母さんの生活の様子を読み取る。</p>	7	<p>おばあちゃんの話聞いてマサエの心がどう変わったか読み取る。</p>	<p>A:わらぐつに対する見方の変化やおばあちゃんやおじいちゃんへの見方の変化を、根拠をつけて書くことができる。</p> <p>B:わらぐつに対する見方の変化やおばあちゃんやおじいちゃんへの見方の変化を書くことができる。</p>
<p>A:ゆみ子に対しての父母の思いも考え、思いやりあふれる文章を書くことができる。</p> <p>B:ゆみ子に対しての心情を、思いやりあふれる文章で書くことができる。</p>	<p>ゆみ子に手紙を書く。</p>	8 広める	<p>方言と共通語の特徴を理解するために音読発表会をする。</p>	<p>A:方言のよさが分かるよう抑揚を変えて読むことができる。</p> <p>B:方言のあたたかさ分かるように気をつけて読むことができる。</p>

5 本時の指導（本時6 / 8）
（1）到達目標と具体的評価規準

到達目標

一輪のコスモスの花に込められたお父さんの思いを読み取ることができる。

具体的評価規準

<p>A（十分満足） 「一つだけのお花、大事にするんだようー。」から「ー。」がついていることから、お父さんのゆみ子への思いを大事にしてほしいということの他にたった一つの命を大事にしてほしいなどの心情を豊かに書くことができる。</p>
<p>B（おおむね満足） 「一つだけのお花大事にするんだようー。」から「ー。」の部分をお父さんのゆみ子への思いを文中の言葉「大事にしてほしい」を使って書くことができる。</p>
<p>C（努力を要する児童への手だて） お父さんが一番伝えたかったことが「一つだけのお花大事にするんだようー。」であることから、大事という言葉を使って書くことができるようにさせる。</p>

5 本時の指導（本時6 / 8）
（1）到達目標と具体的評価規準

到達目標

大工さんの仕事に対する考え方からたのしくてえらいと思ったわけを読み取ることができる。

具体的評価規準

<p>A（十分満足） 「使う人の身になって」という大工さんの言葉の他に、たのしくてえらいと思ったわけを考え書くことができる。</p>
<p>B（おおむね満足） 「使う人の身になって」という言葉からたのしくてえらいと思ったわけを書くことができる。</p>
<p>C（努力を要する児童への手だて） 大工さんの言葉の中で一番仕事に対する姿勢が分かる言葉が「使う人の身になって」であることから、「使う人の身になって」と既習の「はく人がはきやすいように」というところを考えさせ、書くことができるようにさせる。</p>

(2) 研究主題との関連

仮説2

イ「人物の行動や気持ちを想像しながら読む」に迫るためにゆみ子の父の会話文から「一つだけのお花，大事にするんだよ。」と「一つだけのお花，大事にするんだよー。」の違いを考えさせる。

(2) 研究主題との関連

仮説3

イ「人物の気持ちや場面の情景の叙述や描写の巧みさに気づきながら読む」に迫るために，大工さんの仕事に対する仕事ぶりとおみつさんのわらぐつを編む様子から「使う人の身に」なれる二人の似ているところを考えさせる。

(3) 展開

段階	児童の反応 評価 留意点		形態	児童の反応 評価 留意点		段階
	学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)	学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)		学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)	学習活動 教師の働きかけ (発問・指示)	
漢字学習 5分	書き順を見ながら、正確に書いているかチェックする。	1 漢字スキル		1 漢字スキル	書き順を見ながら、正確に書いているかチェックする。	漢字学習 5分
持つ・見通す 15分	<p>課題を視写し、一斉読する。</p> <p>読み取りの視点を与える。 キーワードの一のつく言葉に気をつけて読ませる。</p> <p>1 一輪のコスモスの花をみつめる 2 1つだけあげよう 3 1つだけのお花、大事にするんだよー。 4 何も言わずに、汽車に乗って言ってしまった。 5 1つの花を見つめながらー。</p>	<p>2 学習課題の確認 一つのコスモスの花にこめられたお父さんの気持ちを考えよう</p> <p>3 学習場面の把握 お父さんの言動を読み取る</p> <p>指示1 お父さんのしたことと言ったことに気をつけながら音読しましょう。</p> <p>4 一人学び 指示2 お父さんがしたことと言ったことをノートに書きましょう。</p>		<p>2 学習場面の把握 指示1 大工さんとおみつさんの似ているところに気をつけながら、音読しましょう。 3 課題をつかむ おみつさんの仕事への姿勢から似ているところを考え、大工さんをたのもしく思ったわけを読み取る</p> <p>4 一人学び 大工さんの仕事に対する姿勢を読み取る</p> <p>指示2 大工さんの仕事に対する姿勢がわかる言葉をノートに書きましょう。</p>	<p>読み取りの視点を与える。 仕事への姿勢</p> <p>1 いい仕事ってのは、見かけで決まるもんじゃない 2 使う人の身になって 3 使いやすく 4 じょうぶ 5 長持ちするように</p>	持つ・見通す 15分

	お父さんの様子をノートに書くことができたか。(ノート)				大工さんの仕事に対する姿勢をノートに書くことができたか。(ノート)	
学び合う 20分	<p>3 一つだけのお花，大事にするんだようー。 わけはーの部分にまだ他にいたかったことが隠されているから。 ダッシュのことが出ないときは補足する。</p> <p>花だけでなく，他のことも一つだけの幸せ など</p> <p>お母さんのことを大事にしてほしい など</p>	<p>5 学び合い</p> <p>お父さんの心情の焦点化を図る</p> <p>指示 3 この中で一番お父さんがゆみ子に対して言いたかったことは何でしょう。一つ選んでノートに書きましょう。</p> <p>発問 1 ダッシュの中に隠れているお父さんが大事にするんだよといっているのは，どんなことだと思いますか？</p> <p>指示 4 他のことで大事にしてほしいと考えるならどんなことを大事にしてほしいのか考えてみましょう。</p>		<p>5 学び合い</p> <p>おみつさんと大工さんの仕事に対する姿勢の似ているところをさがす</p> <p>発問 1 大工さんの仕事に対する姿勢とおみつさんの仕事ぶりと同じところはありますか？</p> <p>発問 2 大工さんとおみつさんは，どんな人だと思いますか？</p> <p>発問 3 おみつさんが大工さんをたのしく思ったわけは何ですか？</p>	<p>1 見かけで決まらないー少しくらい格好が悪くても</p> <p>2 使う人の身になってーはく人がはきやすいように</p> <p>3 じょうぶで長持ちー少しでも長持ちするように</p> <p>「使う人の身になって」 「はく人がはきやすいように」 自分ではない人のことを考えているからやさしい</p> <p>見かけで決まらないうちを切り切っているから。</p> <p>おみつさんが不格好と気にしていたことを思い出させる。</p>	学び合う 20分
広める 5分	<p>・お父さんの他にも言いたかった様子が分かるように音読をする。</p>	<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「一つだけのお花大事にするんだようー。」からお父さんの心の中は他にもゆみ子に言いたかったことが分かる。たった一つの命を大事にしてほしい。</p> </div> <p>7 広める</p> <p>8 次時の学習を知る。</p>		<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大工さんとおみつさんは、他の人の身になって考えることのできることに似ているのだといえる。たのしく思ったのは、見かけで決まらないうちを切り切っているから。</p> </div> <p>7 広める</p> <p>8 次時の学習を知る。</p>	<p>・大工さんとおみつさんの様子を考えながら音読させる。</p>	広める 5分

(4) 板書計画

4年生

5年生

課題
大工さんとおみつさんの仕事への姿勢から似ているところを読み取る

大工さん

一 いい仕事するのは、見かけで決まるもんじゃない

みつ 少しぐらい格好が悪くても

二 使う人の身になって

みつ はく人がはきやすいように

三 使いやすく

みつ はく人がはきやすいように

四 じょうぶ

みつ 長持ちするように

五 少しでも長持ちするように

似ているところ
他の人の身になれる

まとめ

大工さんとおみつさんは、他の人の身になって考えることのできる。ところが似ているといえる。たのもしく思った訳は、見かけで決まらなと言いつつ切っているから。

課題

戦争にいくお父さんがゆみ子にしたことと言ったことからお父さんの心の中を考えよう

一 輪のコスモスの花をみつける

二 「一つだけあげよう。」

三 「一つだけのお花、大事にするんだよう。」

四 何も言わずに、汽車に乗って行ってしまった。

五 「一つの花を見つめながら」

三 「一つだけのお花、大事にするんだよう。」

他にもたくさん言いたかった

まとめ

「一つだけのお花大事にするんだよう。」からお父さんの心の中は他にもゆみに言いたかったことが分かる。たつた一つのこと命を大事にしてほしい。